

夕張は、いま・・・

2007年3月、総務大臣の同意を受けた再建計画のもと、夕張市の行政執行がスタートしました。しかしそれは、債務返済最優先の計画のもと、多くの組合員が職場を去る中でのスタートでした。

そして2008年3月には、自治労の皆さんをはじめ連合組合員の皆様方からのご支援により、「ゆうばり市民・生活サポートセンター」が設立されました。このサポートセンターは、再建計画において廃止・休止となった事業で、職員負担が過度となったもの、市民生活等において対応が必要なものなどについて、市職員OBがサポートするというシステムです。

さて今、各自治体においては自治体財政健全化法が施行されたことにより、4指標回避のための様々な対応が図られ、その矛先を人件費に求めてきています。

各単組においても厳しい状況下での取り組みになるのは必至の状況かとは思いますが、夕張のような計画を作ったならば、人口は流出し、職員も退職し、再建とはほど遠い状況が作られます。夕張の財政再建計画について組合が指摘した際に、国は「まずは計画策定。問題あれば随時考えて行きます」としてきました

夕張市職員労働組合 委員長 厚谷 司

が、必ずしもそうっていないのが現状です。

地方自治確立のためには夕張のような手法を講じてはいけない、現状把握の乏しい総務省の指導にしっかりと対峙していかなければいけない、強い意思統一のもとで闘っていかなければならないというのが、今の私の思いです。

北海道自治研では、「夕張からわがまちの財政を考える」特別分科会が設けられています。

ぜひ、全国の皆さんといっしょに私たちも学んでいきたいと思えます。

全国の仲間のみなさんにあらためてこの間のご支援に感謝を申し上げるとともに、10月、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



◎全国のみなさんのおかげで「ゆうばり市民・生活サポートセンター」が設立されました

北海道がいっぱいのアトラクション



Attraction 1

江差追分

香澄 [KAZUMI]

▶江差追分日本一を決める江差追分全国大会で、見事17歳にして優勝。



Attraction 2

アイヌ古式舞踊

アイヌ民族博物館による舞踊公演

▶白老地方に伝わるアイヌ古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

写真提供：アイヌ民族博物館



マイ箸&マイバッグをご持参ください

*自治研3日間を通し、昼食のお弁当に割り箸はついていません。また当日配布される資料は封筒に入れてありますが、それを持ち運ぶ手さげ袋は用意されていません。